

公益財団法人滋賀食肉公社および株式会社滋賀食肉市場に係る経営健全化方針に基づく取組状況（令和5年度）

法人名： 公益財団法人 滋賀食肉公社

○経営健全化方針を策定した理由：

滋賀食肉センターの運営・経営健全化は、当法人と株式会社滋賀食肉市場が一体的に取り組む必要がある。
 また、滋賀県行政経営方針(平成27年3月)においても、当法人は、経営状況の改善に向けて県が重点的関与を行う法人と位置づけられている。
 以上の点から、株式会社滋賀食肉市場とともに、当方針の策定対象と位置づけたものである。

○財政的リスクの状況

	平成29年度 決算	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和4年度末 における目標
累積損失額(千円)	980,422	951,716	922,042	906,920	890,260	839,678	730,000
損失補償の額(千円) [A]	2,116,366	2,000,768	1,885,171	1,769,574	1,653,976	1,538,379	1,538,379
本県の標準財政規模(千円) [B]	331,724,245	332,107,763	334,637,307	337,982,241	354,095,378	346,850,325	—
実質赤字の早期健全化基準(%)	3.75%	3.75%	3.75%	3.75%	3.75%	3.75%	—
[A]÷[B] (%)	0.64%	0.60%	0.56%	0.52%	0.47%	0.44%	—

公益財団法人滋賀食肉公社および株式会社滋賀食肉市場に係る経営健全化方針に基づく取組状況（令和5年度）

法人名： 公益財団法人 滋賀食肉公社

○主な取組状況

【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】

- 牛のと畜頭数については、計画頭数を上回り過去最高となり、前年度に引き続き、単年度黒字を計上した。しかしながら、多額の累積債務に加え、施設・設備の老朽化が進み、修繕費が増加するとともに、電気料金や燃料費、廃棄物処理費の増加等から、収支改善が思うように進まず、資金繰りは依然として悪化傾向にあるなど、厳しい経営状況が続いている。そこで、経常的な経費の節減や大規模太陽光発電事業の実施等、収支両面にわたる経営健全化対策を実施した。また、更なる経営の健全化を図り、センター運営の安定的な持続を実現するため、令和5年3月に第4次経営健全化計画を策定した。

【県による財政的なリスクへの対処のための対応】

- 消費者に対する安全で安心な食肉の安定供給と、近江牛をはじめとした本県の畜産振興を目的とする滋賀食肉センターの業務の円滑化および安定経営の実現に向けた取組を支援した。
- 外部委員により構成された「滋賀食肉センター経営評価会議」を開催し、当法人の経営改善の取組状況について意見を伺った。
- 公益財団法人滋賀食肉公社において、施設・設備の計画的な更新・修繕、適切な管理が行えるよう、引き続き必要な支援を行う。
- 滋賀食肉センターを開設してから約16年が経過するなかで、施設の老朽化等、顕在化してきている課題をはじめとして、センター全体において抱える様々な課題を洗い出し、解決するための方策や設置運営形態など、センター全体のあり方について検討を行う。

公益財団法人滋賀食肉公社および株式会社滋賀食肉市場に係る経営健全化方針に基づく取組状況（令和5年度）

法人名： 公益財団法人 滋賀食肉公社

○法人の財務状況

(千円)

	平成29年度 決算	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	
貸借対照表から	資産総額	2,919,981	2,867,595	2,752,941	2,682,959	2,634,396	2,653,140
	1) 流動資産	112,950	106,127	41,457	54,114	47,172	36,167
	うち現金預金	87,748	74,435	24,157	28,657	25,606	16,371
	うち売上債権	25,037	31,663	17,272	25,429	19,298	19,796
	2) 固定資産	2,807,031	2,761,468	2,711,484	2,628,845	2,587,224	2,616,973
	うち基本財産	1,404,366	1,403,778	1,403,190	1,402,601	1,402,013	1,401,425
	負債総額	2,350,633	2,222,736	2,036,643	1,932,687	1,861,780	1,738,010
	1) 流動負債	80,027	91,478	39,732	70,124	60,185	72,438
	2) 固定負債	2,270,605	2,131,258	1,996,911	1,862,563	1,801,596	1,665,572
	うち県からの借入金	49,408	44,408	44,408	44,408	44,408	57,408
うち有利子負債	2,210,116	2,075,768	1,941,421	1,807,074	1,746,106	1,597,083	
正味財産合計	569,348	644,859	716,298	750,272	772,616	915,129	
正味財産増減計算書から	経常収益	406,295	407,082	402,762	427,276	413,917	477,482
	経常費用	382,315	378,337	373,088	412,154	397,257	426,900
	当期経常増減額	23,981	28,745	29,674	15,123	16,659	50,582
	当期経常外増減額	△ 0	△ 39	△ 0	-	-	-
	当期一般正味財産増減額	23,981	28,706	29,674	15,123	16,659	50,582
	一般正味財産期末残高	△ 980,422	△ 951,716	△ 922,042	△ 922,042	△ 890,260	△ 839,678
	当期指定正味財産増減額	124,293	46,804	41,765	18,851	5,685	91,931
	指定正味財産期末残高	1,549,771	1,596,575	1,638,340	1,657,191	1,662,876	1,754,808
正味財産期末残高	569,348	644,859	716,298	750,272	772,616	915,129	

公益財団法人滋賀食肉公社および株式会社滋賀食肉市場に係る経営健全化方針に基づく取組状況（令和5年度）

法人名： 株式会社 滋賀食肉市場

○主な取組状況

【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】

- HACCP（危害分析・重要管理点）方式による衛生管理を徹底したと畜解体業務や食肉処理等の業務を行い、安全な食肉を安定的に供給した。
- と畜解体工程等でのHACCP運用状況確認を行うとともに、平成29年度に認証規格を取得したISO22000を更新した。
- 食品安全委員会を毎月開催するとともに、滋賀県食肉衛生検査所が主催する滋賀食肉センター業務調整会議に出席し、センターにおける衛生管理について情報交換、意見交換等を実施した。
- 自律的経営をめざすとともに、食肉の品質の維持向上を図り、近江牛ブランドのさらなる発展に寄与するため、令和5年6月に（株）滋賀食肉市場中期計画を策定した。

【県による財政的なリスクへの対処のための対応】

- 消費者に対する安全で安心な食肉の安定供給と、近江牛をはじめとした本県の畜産振興を目的とする滋賀食肉センターの業務の円滑化および安定経営の実現に向けた取組を支援した。
- 外部委員により構成された「滋賀食肉センター経営評価会議」を開催し、当法人の経営改善の取組状況について意見を伺った。
- 滋賀食肉センターを開設してから約16年が経過するなかで、施設の老朽化等、顕在化してきている課題をはじめとして、センター全体において抱える様々な課題を洗い出し、解決するための方策や設置運営形態など、センター全体のあり方について検討を行う。

公益財団法人滋賀食肉公社および株式会社滋賀食肉市場に係る経営健全化方針に基づく取組状況（令和5年度）

法人名： 株式会社 滋賀食肉市場

○法人の財務状況

(千円)

	平成29年度 決算	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	
貸借対照表から	資産総額	440,073	468,880	339,475	379,960	416,569	400,859
	1)流動資産	428,704	457,314	328,511	369,282	406,469	390,958
	うち現金預金	188,104	213,308	153,307	208,548	195,564	213,269
	うち売上債権	240,146	243,511	175,230	160,655	211,304	175,476
	2)固定資産	11,370	11,566	10,963	10,678	10,100	9,901
	負債総額	799,814	787,351	619,072	602,929	592,988	526,475
	1)流動負債	663,835	646,892	486,787	478,112	464,670	449,129
	うち短期借入金	280,000	260,000	260,000	240,000	190,000	204,476
	2)固定負債	135,978	140,458	132,284	124,816	128,318	77,346
	うち県からの借入金	44,476	44,476	44,476	44,476	44,476	-
うち有利子負債	23,172	27,652	20,978	14,510	8,012	4,016	
純資産総額	△ 359,740	△ 318,471	△ 279,597	△ 222,969	△ 176,419	△ 125,616	
1)資本金	44,070	44,070	44,070	44,070	44,070	44,070	
2)繰越利益剰余金	△ 403,810	△ 362,541	△ 323,667	△ 267,039	△ 220,489	△ 169,686	
損益計算書から	売上高	473,558	530,341	548,578	720,947	555,794	475,792
	売上原価	69,982	107,292	136,155	300,614	121,518	1,818
	売上総利益	403,577	423,049	412,422	420,333	434,275	473,974
	販売費及び一般管理費	386,414	401,832	392,971	382,467	406,504	432,917
	営業利益	17,162	21,217	19,451	37,866	27,771	41,056
	経常利益	36,691	41,455	39,060	56,813	46,735	61,095
	法人税	186	186	186	186	186	10,292
	当期純利益	36,502	41,270	38,874	56,628	46,550	50,803

公益財団法人滋賀食肉公社および株式会社滋賀食肉市場に係る経営健全化方針に基づく取組状況（令和5年度）

□滋賀食肉センター経営評価会議における評価

○法人自らによる経営健全化のための具体的な取組に対する評価

（公財）滋賀食肉公社、（株）滋賀食肉市場

- ・と畜場においては、経費に占める光熱水費の割合が高く、このところの物価高騰により食肉センターの経営状況は厳しいものとなっている。
- ・自家割はセリに比べ手数料が低く、収支改善のためにも、適正な費用負担の観点から、自家割手数料の見直し等を行う必要がある。
- ・公社の長期未収金が令和3年度末111百万円から令和4年度末106百万円と5百万円しか減っておらず、もっと回収する必要がある。
- ・市場は未収入金41百万円、未収収益9百万円あり、未収入金や未収収益をもっと回収する必要がある。
- ・市場の貸借対照表および損益計算書については、前期との比較表にする方が分かりやすい。
- ・市場や公社のトップがころころと交代するのは、経営改善にとっても好ましくない。

○県による経営健全化のための具体的な対応に対する評価

- ・豊富な経験やノウハウを持ったトップであっても、孤軍奮闘では経営改善の実現は難しいので、県によるサポート体制の構築などの対応が必要である。